

みんなの地域だより



◆問い合わせ 生涯学習課
公民館・スポーツ係
(☎ 44-5110)



中学生が大活躍!!

田川校区活性化協議会

1月18日、田川校区活性化協議会（栗本康雄会長）主催による「もちつき大会」が大藪小学校で開催されました。子どもから高齢者まで約100人が参加しました。例年、田川中学校野球部の生徒が参加していましたが、今回は、野球部に加え、バレー部や卓球部、吹奏楽部の生徒も多数参加。時折、まわりから「腰を入れて」「や「テンポよく」といった声がかかると、参加者のきねを持つ手にも力が入った様子で、それまで以上に勢いよく餅をついていました。つきたての餅は、きな粉餅や酢餅、ぜんざいとして振る舞われ、きな粉餅を食べた子どもたちは「あつたかいね。やわらかいね」と笑顔の花を咲かせていました。



▲声をかけあいながらきねを振るい、おいしい餅ができました



▲細長い竹を使って、おいしい餅を焼きました



伊田校区ふれあい事業「どんど焼き」

伊田校区活性化協議会

1月25日、伊田小学校の運動場で伊田校区活性化協議会（大宅俊一会長）主催による「どんど焼き」が行われ、約300人が参加しました。この日は、参加者が持ち寄った古くなった正月飾りなどを燃やし、その残り火で子どもたちが細長い竹の先端に餅を刺して焼きました。きれいに焼ける子どもやかなかまうく焼けずに真っ黒にしてしまいう子どもなどさまざまな姿が見られ、子どもたちは自分で焼いた餅をおいしそうに食べていました。また、ぜんざいやカレーが振る舞われたり、ビンゴ大会が行われたりと、多くの人で賑わいました。



鎮西校区人権・同和教育講座

鎮西校区活性化協議会

2月6日、鎮西小学校図書室で、鎮西校区活性化協議会（児島孝司会長）の公民館部会主催による「人権・同和教育講座」が行われ、校区住民30人が参加しました。

この日は、公益社団法人全国人権教育研究協議会元研究専門委員の鍋山公一さんを講師に招き、「人権問題は、今……」と問われているのはおとなの感性」と題した講演を行いました。

鍋山さんは「大人の社会の縮図が、そのまま子ども姿になっているといえる。どのような状況でも、相手の話をしっかりと最後まで聞くことが大切」と話しました。

公民館部会長の鬼津常晴さんは「具体的な例を取り上げて説明してもらい、人権問題についても勉強になりました」と話しました。



▲「何が正しくて何が間違っているかを確かめる必要がある」と訴える鍋山さん